

番		設計の理由	水道施設整備計画に伴い本工事を要す。	工期	令和6年3月1日限り	施行方法	一般競争入札													
令和5年	町単																			
<h1>実施設計書</h1> <h2>第12号水源さく井工事</h2> <p>上三川町大字西蓼沼690番地3</p> <p>工事延長 L = 42.5m</p> <h3>設計概要</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">さく井工（深井戸）</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.0</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">式</td> </tr> <tr> <td>導水管布設工（配水用ポリエチレン管 φ150）</td> <td style="text-align: center;">42.5</td> <td style="text-align: center;">m</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>								さく井工（深井戸）	1.0	式	導水管布設工（配水用ポリエチレン管 φ150）	42.5	m							課長
さく井工（深井戸）	1.0	式																		
導水管布設工（配水用ポリエチレン管 φ150）	42.5	m																		
								補佐												
								係長												
								検算者												
								設計者												
設計用紙（甲）					上三川町															
<p>工事請負額</p> <hr/> <p>工事価格</p> <hr/> <p>消費税相当額</p> <hr/>																				
予算額			増減額	予算額に対する増減額		理由														
実施前	設計額																			
	請負額																			
	請負率																			
今回変更	設計額			前請負額に対する増減額																
	請負額																			

総括情報表

積算年度	令和5年度
事業名	
工事番号	
発注者名	
設計書名	第12号水源さく井工事
工事場所	上三川町大字西蓼沼690番地3
変更回数	
適用単価	令和5年6月改定
地区分類	01 宇都宮
前払	前払金 35% を超え 40% 以下 (水道)
工種	水道工事(浄水場等)
市街地補正	補正なし
消費税率	10 %
施工方法	一般競争入札
設計理由	
工期	
設計額	
請負額	
請負業者名	
請負率	

第12号水源さく井工事
上三川町大字西蓼沼690番地3

本工事費内訳書

費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式
上水道工事(浄水場等)					*印は特殊製品費 X33-0
さく井工	1	式			第1号内訳書 X000101001-2
揚水機工事	1	式			第2号内訳書 X000101002-2
導水管布設工事	1	式			第3号内訳書 X000101003-2
直接工事費計					Z120101-0
共通仮設費					Z120102-0
共通仮設費(率分) 水道工事(浄水場等) : 補正なし	1	式			Z013301050-0
共通仮設費計					Z120103-0

第12号水源さく井工事
上三川町大字西蓼沼690番地3

本工事費内訳書

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
純工事費					Z120104-0
現場管理費 水道工事(浄水場等) : 補正なし	1	式			Z013302050-0
工事原価					Z120105-0
一般管理費 前払金 35% を超え 40% 以下 (水道)	1	式			Z013390050-0
契約保証費用	1	式			Z110102010-0
工事価格					Z120106-0
改め					Z110106010-0
消費税相当額 (10%対象)	1	式			Z110103010-0

第12号水源さく井工事
上三川町大字西蓼沼690番地3

本工事費内訳書

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
本工事費計					

さく井工

式当り 内訳書

第1号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
掘削費 孔径 φ 500mm×55m 粘性土14.0m 礫質土41.0m	1	式			第1号代価表 K040201101-1
孔内検層費	1	式			第2号代価表 K040201102-1
ケーシング挿入費 SUS制ケーシング	1	式			第3号代価表 K040201103-1
硅砂充填・遮水費	1	式			第4号代価表 K040201104-1
仕上げ費	1	式			第5号代価表 K040201105-1
残泥土処理費	1	式			第6号代価表 K040201106-1
揚水試験費	1	式			第7号代価表 K040201107-1
報告書作成費	1	式			第8号代価表 K040201108-1

さく井工

式当り 内訳書

第1号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
機械器具損料	1	式			第9号代価表 K040201109-1
仮設費	1	式			第10号代価表 K040201110-1
運搬費	1	式			第11号代価表 K040201111-1
合計					

揚水機工事

式当り 内訳書

第2号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
材料費					W000102-1
深井戸水中ポンプ φ80×7.5kw 井戸蓋・曲管・空気弁付属	1	基			D040202001-1
ソールプレート 鋼板製 φ500×20t	1	枚			D040202002-1
連成計 φ100×1.0Mpa 取付管・コック共	1	組			D040202003-1
揚水管 SUS304 φ80×4.0m 2F	11	本			D040202004-1
低水位ケーブル 50m	2	個			D040202005-1
水位計用塩ビ管 ソケット共 VP40	11	本			D040202006-1
逆止弁 ナイロンコート φ80×10K ハンマーソフトタイプ	1	基			D040202007-1

揚水機工事

式当り 内訳書

第2号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
仕切弁 ナイロンコート φ80×10K	1	基			D040202008-1
仕切弁 ナイロンコート φ65×10K	1	基			D040202009-1
電磁流量計 TAV100V-30UE φ80 ディストリビューター・信号用避雷器付き	1	基			D040202010-1
球型フレキシブル接手 φ80×10k	1	基			D040202011-1
吐出T字管 SUS304 φ80×65 3F	1	基			D040202012-1
吐出片落管 SUS304 φ80×100 2F	1	基			D040202013-1
吐出短管 SUS304 φ100×400 2F	1	基			D040202014-1
吐出短管 SUS304 φ100×600 2F	1	基			D040202015-1

揚水機工事

式当り 内訳書

第2号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
吐出短管 SUS304 φ65×1000 2F	1	基			D040202016-1
吐出短管 SUS304 φ65×800 2F	1	基			D040202017-1
吐出曲管 SUS304 φ65×90° 2F	2	基			D040202018-1
消火栓弁 φ65	1	基			D040202019-1
パッキン・ボルト	1	式			D040202020-1
鋼製架台 SUS304	1	式			D040202021-1
消耗品雑材料費		%			Z990108020-1
ポンプピット 揚-1号内訳書	1	式			第14号代価表 K040202101-1

揚水機工事

式当り 内訳書

第2号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000102-2
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
配管工		人			R010136001-0
その他					W000102-3
材料費 クレーン車 ラフテレーン15t		日			D040202024-1

揚水機工事

式当り 内訳書

第2号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
材料費 治具工具損料	1	式			D040202025-1
合計					

導水管布設工事

式当り 内訳書

第3号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
材料費					W000103-1
耐震型ロックバルブ 300×150 (配水用ポリエチレン管)	1	基			D040203001-1
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管) φ150mm 外径180.0mm 厚16.4mm 長5.0m	8	本			T130520004-0
EF フランジ SUSGF型 100×10K	1	個			D040203003-1
EF フランジ SUSGF型 150×10K	3	個			D040203004-1
E F レデューサ(片受) φ150×100mm	1	個			T130520204-0
E F 90° ベンド(片受) φ150mm	1	個			T130520053-0
E F 90° ベンド(両受) φ150mm	1	個			T130519053-0

導水管布設工事

式当り 内訳書

第3号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
EFソケット(両受) φ150mm	2	個			T130519014-0
EF 組合せバンド 150×22.5°	1	組			D040203009-1
制水弁 φ150	1	組			D040203010-1
弁筐 φ150	1	組			D040203011-1
弁筐 φ150座台	1	個			D040203012-1
埋設シート	42	m			D040203013-1
パッキン・ボルト	1	式			D040203014-1
労務費					W000103-2

導水管布設工事

式当り 内訳書

第3号内訳表

費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式
配管工		人			R010136001-0
普通作業員		人			R010102001-0
配管工		人			R010136001-0
普通作業員		人			R010102001-0
配管工		人			R010136001-0
工事費					W000103-3
ロックバルブ設置 メーカー施工	1	式			D040203015-1
導水管布設土工事	1	式			第12号代価表 K040203101-1

導水管布設工事

式当り 内訳書

第3号内訳表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
ロックバルブ土工事	1	式			第13号代価表 K040203102-1
合計					

掘削費
孔径 φ 500mm×55m

式当り 代価表

粘性土14.0m 礫質土41.0m

第1号代価表

費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式
労務費					W000101-1
地質調査技師		人			R010161001-0
主任地質調査員		人			R010162001-0
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
材料費					W000101-2
掘削用粘土 0.97×15.5	15	m ³			D040201001-1
消耗資材費 普通溶接棒	4.96	kg			D040201002-1

掘削費
孔径 φ 500mm×55m

式当り 代価表

粘性土14.0m 礫質土41.0m

第1号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
消耗資材費 特殊溶接棒	4.34	kg			D040201003-1
消耗資材費 酸素	2.8	本			D040201004-1
アセチレンガス ボンベ	12.3	kg			T095106101-0
消耗資材費 ワイヤーロープ損料 φ22 3回使用として計上	105	m			D040201006-1
消耗資材費 ワイヤーロープ損料 φ12 5回使用として計上	105	m			D040201007-1
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0
合計					

孔内検層費

式当り 代価表

第2号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
材料費		%			Z990113020-0
合計					

ケーシング挿入費
SUS制ケーシング

式当り 代価表

第3号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
普通作業員		人			R010102001-0
溶接工		人			R010113001-0
材料費					W000101-2

ケーシング挿入費
SUS制ケーシング

式当り 代価表

第3号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
ケーシングパイプ SUS304 φ380×6.0m Sh20 継ぎ材を含む	5	本			D040201011-1
ケーシングパイプ SUS304 φ350×4.0m	1	本			D040201012-1
巻線型スクリーン SUS304 φ350×5.5m ウエルスクリーン 有孔L=5.0m	4	本			D040201013-1
井戸底蓋(ボトム) φ350 SUS	1	個			D040201014-1
溶接棒 SUS用	10.45	kg			D040201015-1
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0
合計					

硅砂充填・遮水費

式当り 代価表

第4号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
材料費					W000101-2
硅砂 2号 φ2~4mm	4.4	m ³			D040201021-1
充填粘土	1.02	m ³			D040201022-1

珪砂充填・遮水費

式当り 代価表

第4号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
ポルトランドセメント 普通 25kg袋物 2t未満	40	袋			Q030101101-0
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0
合計					

仕上げ費

式当り 代価表

第5号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
材料費					W000101-2
材料費		%			Z990113020-0
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0

仕上げ費

式当り 代価表

第5号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
合計					

残泥土処理費

式当り 代価表

第6号代価表

費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式
処分費					D040201031-1
	32.3	m3			
運搬車運転費 4t車2.5m3					D040201032-1
	13	台			
合計					
単位当り					

揚水試験費

式当り 代価表

第7号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000101-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1

揚水試験費

式当り 代価表

第7号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
材料費					W000101-2
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0
材料費 その他 水質試験費 水道法全51項目	1	式			D040201041-1
合計					

報告書作成費

式当り 代価表

第8号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
一般事務職員		人			R010103001-1
その他					W000101-3
写真費	1	式			D040201051-1
印刷製本費	3	部			D040201052-1
地質標本箱	1	箱			D040201053-1

報告書作成費

式当り 代価表

第8号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
合計					

機械器具損料

式当り 代価表

第9号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
損料					W000101-4
さく井機械(パーカッション) 大型 原動機共		日			D040201061-1
掘削用ビット φ 500		日			D040201062-1
粘土攪拌機		日			D040201063-1
電気溶接機		日			D040201064-1
工事用サンドポンプ		日			D040201065-1
試験用水中ポンプ φ 100×22kw		日			D040201066-1
発電機 60KVA		日			D040201067-1

機械器具損料

式当り 代価表

第9号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
泥水タンク		日			D040201068-1
ケーシング器具		日			D040201069-1
測定堰・送水管類	1	式			D040201070-1
電気検層装置		日			D040201071-1
ユニットハウス トイレ共		日			D040201072-1
消耗品及び工具損料		%			Z990103020-1
合計					

仮設費

式当り 代価表

第10号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
労務費					W000101-1
技師(地質調査技師)		人			R010161001-1
さく井主任(主任地質調査員単価)		人			R010162001-1

仮設費

式当り 代価表

第10号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
さく井工(特殊作業員単価)		人			R010101001-1
さく井助手(普通作業員単価)		人			R010102001-1
とび工		人			R010106001-0
材料費					W000101-2
材料費		%			Z990113020-0
損料					W000101-4
機械組立・解体用クレーン車 ラフテレーン15t		日			D040201082-1
バックホウ 0.2m3 回送費含む		日			D040201083-1

仮設費

式当り 代価表

第10号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
敷鉄板設置及び撤去工	72	m2			D040201084-1
敷鉄板 22×1624×6096	8	枚			D040201085-1
合計					

運搬費

式当り 代価表

第11号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
運搬費 トラック 10t		日			D040201091-1
運搬費 トラック 10t 3tクレーン付き		日			D040201092-1
運搬費 トラック 4t		日			D040201093-1
運搬費 トラック 4t 2tクレーン付き		日			D040201094-1
仮設材運搬 敷鉄板 往復	1	式			D040201095-1
合計					

導水管布設土工事

式当り 代価表

第12号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
管路掘削 バックホ山積0.45(平積0.35)m3 油圧クローラ型	29.3	m3			第15号代価表 K010111040-0
床掘り 土砂 現場制約あり	3.2	m3			第16号代価表 P020301161-0
管路埋戻 バックホ山積0.45(平積0.35)m3 油圧クローラ型 山砂	12	m3			第17号代価表 K010112331-0
管路埋戻 バックホ山積0.45(平積0.35)m3 油圧クローラ型 発生土	20.5	m3			第18号代価表 K010112310-0
ダンプトラック運搬 BH山積0.45(平積0.35) 10t積 土砂 DID区間なし	12	m3			第19号代価表 K010119111-1
残土処理	12	m3			D040203106-1
合計					

ロックバルブ土工事

式当り 代価表

第13号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
掘削					D040201101-1
	7.29	m3			
掘削 人力(床均し共)					D040203102-1
	1.8	m3			
砂埋戻し					D040203103-1
	1.4	m3			
発生土埋戻し					D040203104-1
	6.57	m3			
土砂運搬					D040203105-1
	1.4	m3			
残土処理					D040203106-1
	1.4	m3			
合計					

ポンプピット
場-1号内訳書

式当り 代価表

第14号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
掘削	24.5	m3			D040201101-1
基面整正	14	m2			D040201102-1
碎石基礎	14	m2			D040201103-1
鉄筋加工組立 D13 @150シングル 小型構造物	341	kg			D040201104-1
型枠加工組立 小型構造物	26.2	m2			D040201105-1
コンクリート打設 小型構造物	2.5	m3			D040201106-1
埋戻し 埋戻し幅1m未満	17	m3			D040201107-1
土砂運搬	24.5	m3			D040201108-1

ポンプピット
場-1号内訳書

式当り 代価表

第14号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
残土処分	24.5	m3			D040201109-1
通気金物 アルミ合金鋳物製 VC-B2-100 取付共	1	個			D040201110-1
ピット蓋 SUS鋼板制 鍵2個 取付共	1	式			D040201111-1
鉄筋加工組立 D13 @150シングル 小型構造物	30	kg			D040201104-1
型枠加工組立 小型構造物	1.3	m2			D040201105-1
コンクリート打設 小型構造物	0.2	m3			D040201106-1
合計					

管路掘削

バックホウ山積0.45(平積0.35)m3 油圧クローラ型

m3当り

代価表

第15号代価表

費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式
土木一般世話役		人			R010125001-0
普通作業員		人			R010102001-0
機械運転 バックホウ山積0.45(平積0.35)m3 油圧式クローラ型		時間			第20号代価表 K010199040-0
諸雑費	1	式			Z990101010-0
合計					
単位当り					

床掘り
土砂 現場制約あり

m3当り 代価表

第16号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	構 成 比	単 位	東 京/県 単 価	構 成 × 県/東 京	代 価 コー ド / 条 件 / 計 算 式
普通作業員		%			R010102001-0
合計					

管路埋戻 バックホウ山積0.45(平積0.35)m3 油圧クローラ型		m3当り		代価表		山砂		第17号代価表	
費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式				
土木一般世話役		人			R010125001-0				
普通作業員		人			R010102001-0				
機械運転 バックホウ山積0.45(平積0.35)m3 油圧式クローラ型		時間			第20号代価表 K010199040-0				
機械運転 クワ 60~80kg 管路土工用		日			第21号代価表 K010199200-0				
路床砂 砂 クッション用	126	m3			T110102201-0				
諸雑費	1	式			Z990101010-0				
合計									
単位当り									

管路埋戻
 バックホウ山積0.45(平積0.35)m3 油圧クローラ型 m3当り 代価表 山砂 第17号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式

管路埋戻 バックホウ山積0.45(平積0.35)m ³ 油圧クローラ型		m ³ 当り		代価表		発生土		第18号代価表	
費目/工種/種別/細別	数量	単位	単価	計金	代価コード/条件/計算式				
土木一般世話役		人			R010125001-0				
普通作業員		人			R010102001-0				
機械運転 バックホウ山積0.45(平積0.35)m ³ 油圧式クローラ型		時間			第20号代価表 K010199040-0				
機械運転 クワ 60~80kg 管路土工用		日			第21号代価表 K010199200-0				
諸雑費	1	式			Z990101010-0				
合計									
単位当り									

ダンプトラック運搬 BH山積0.45(平積0.35) 10t積
土砂 DID区間なし

m3当り

代価表

運搬距離=8.0km

第19号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
機械運転 ダンプトラック10t積		日			第22号代価表 K010199110-0
合計					
単位当り					

機械運転

バックホウ山積0.45(平積0.35)m3 油圧式クローラ型

時間当り 代価表

第20号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
特殊運転手		人			R010114001-0
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0
バックホウ クレーン機能付・排出ガス対策型 2.9t吊 油圧式・クローラ型 山積0.45(平積0.35)m3 (13)欄 第1次基準値		時間			M020253013-0
諸雑費	1	式			Z990101010-0
合計					

機械運転
タンパ 60～80kg 管路土工用

日当り 代価表

第21号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
特殊作業員		人			R010101001-0
ガソリン レギュラー スタンド		リットル			T093301102-0
タンパ賃料 質量60～80kg		日			T802117001-0
諸雑費	1	式			Z990101010-0
合計					

機械運転
ダンプトラック10t積

日当り 代価表

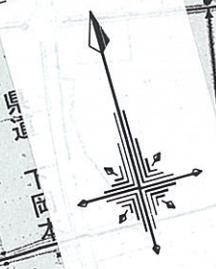
第22号代価表

費 目/工 種/種 別/細 別	数 量	単 位	単 価	計 金	代価コード/条 件/計 算 式
一般運転手		人			R010115001-0
軽油 1.2号 パトロール給油		リットル			T093303101-0
ダンプトラック 10t (15)欄		日			M030112054-0
タイヤ損耗費及び補修費 10t (15)欄 良好		日			M030199104-0
諸雑費	1	式			Z990101010-0
合計					

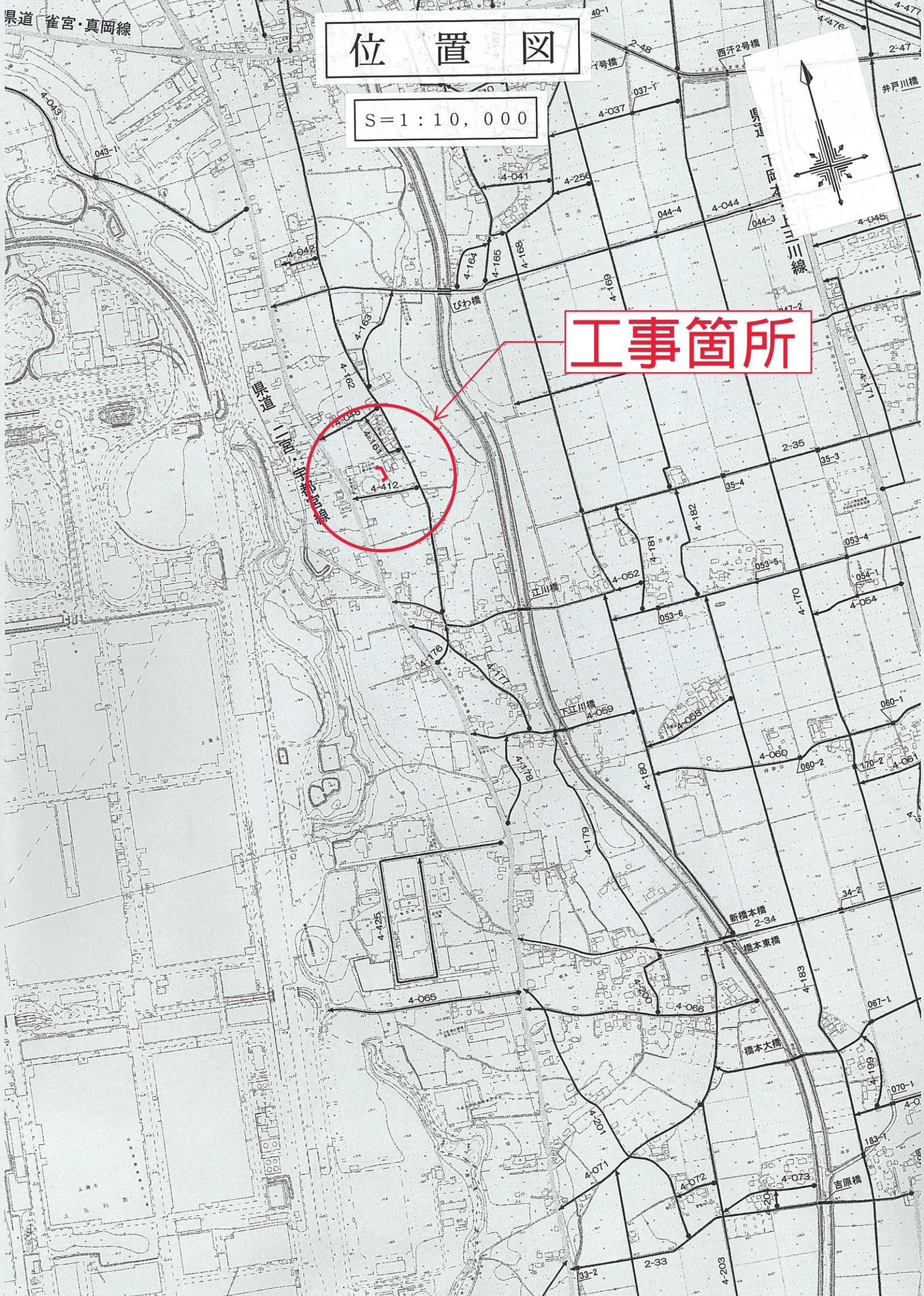
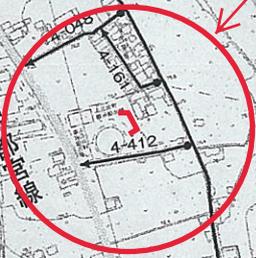
県道 雀宮・真岡線

位置図

S=1:10,000



工事箇所



特記仕様書

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
工 程 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 本工事の工期は、週休2日制及び雨天、その他年末年始休暇等を見込んでいる。 ○2 河川工事に関する工事であるため、出水期を考慮している。 ○3 本工事区間は、_____が_____頃まで施工中なので、工程等に注意すること。 ○4 _____と協議の結果、_____の条件があるので、工程等に注意すること。 ○5 その他 内容:
用 地 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事用地等に未処理部分があるので、監督員と協議のうえ、立入り等を行うこと。 なお、令和_____年_____月_____日頃、解決の見込である。 ○2 その他 内容:
公 害 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵等)のため、次のとおり行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> A. 施工方法: B. 機械施設: C. 作業時間: ●2 本工事の着手と完成時に、付近の家屋及び工作物等の外観調査を行い、工事による影響を把握すること。なお、調査方法、範囲等については、監督員と協議すること。 ○3 その他 内容:
安 全 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 全作業員に対して、工事期間中定期的に安全教育、研修訓練を、月1回・半日以上必ず行い、施工計画書等に明記すること。特に、作業員が変わったとき及び、作業内容に変更があったときは必ず行うこと。 ●2 一般交通の支障となる箇所には、交通安全管理に十分注意し、道路工事保安施設設置基準により保安施設等を設置し施工すること。 ○3 交通整理員については、警備業者の作業員とし交通整理及び、作業車の誘導等の作業を行うものとする。また、配置場所については、最も適切な位置を選定すること。 交通整理人は、延べ_____名配置を設計で見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合は別途協議による。 なお、工事完了後、安全管理についての「交通整理日報(様式-1)」を提出すること。 ○4 その他 内容:
過 積 載 防 止 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 積載重量制限を超えて工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2) 差枠装着車、不表示車等に工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (3) 過積載車両、差枠装着車、不表示車等から工事用資材・土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプトラック等事業者が過積載を行っている場合又は、差枠装着車、不表示車等を工事用資材・土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び、骨材等資材の購入にあたっては、下請け業者及び、骨材等資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○2 その他 内容:
工 事 用 道 路 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 搬入路の取扱は、次のとおり行うものとする。 内容: ○2 仮設道路を次のとおり設置する。 内容: ●3 周辺道路への損傷を把握するため、着工前と完成後に現状調査を実施すること。 ○4 その他 内容:
仮 設 備 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 仮設備の構造及び、その施工法を次のとおり指定する。 内容: ●2 仮設備(現場事務所、資材置き場、工事用通路等)の設置のために、農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を借地する場合は次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 農地等が租税特別処置法による納税猶予等の対象となっているときは仮設予定地としてはならない。 (2) 請負者は、登記簿等により農地等に関する資料を収集し、監督員と協議するものとする。資料収集に要する費用は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (3) 農地等の借地権は町が取得することとするが、その契約に要する費用及び賃貸料は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (4) 農地等は必ず現状に回復し、農地等所有者に返還するものとする。
排 水 工 (濁 水 処 理 を 含 む) 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 河川土工等で、河川を汚濁させる場合は事前に協議のうえ、その対策の措置を講ずること。 ○2 濁水、湧水等の処理で次の対策を行うこと。 内容: ○3 その他 内容:
工 事 支 障 物 件 等	<ul style="list-style-type: none"> ○1 電柱・地下埋設等の占用物件の工事支障物については、次のとおり行う予定である。 <ul style="list-style-type: none"> A. 支障物件: B. 移設・撤去方法: C. 移設・撤去時期: ○2 工事区間には、占用物件[上水道・下水道・電話・電気・ガス等]がある(又は工事中)ので、占用物件管理者と施工方法、工程管理等の打合せを行い、工事に支障のないように調整すること。 ○3 その他 内容:

項目	事項																											
建設副産物関係	<p>●1 建設発生土管理基準関係</p> <p>① 工事を実施するにあたっては、<u>再生資源利用〔促進〕計画書</u>を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、<u>再生資源利用〔促進〕実施書</u>を作成して、工事完成後速やかに実施書を発注者に提出し、COBRISに情報の登録をすませ監督員に確認させること。また、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。</p> <p>なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合でも、再生資源利用〔促進〕実施書は提出するものとする。</p> <p>また、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)入力システムを利用するものとする。</p> <p>② 建設副産物処理に先立ち、別紙<u>建設副産物処理承認申請書</u>により監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。</p> <p>③ 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者(元請業者)は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結すること。</p> <p>④ 建設副産物処理完了後速やかに別紙<u>建設副産物処理調書</u>を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料(位置図、写真等)を提示し確認を受け、竣工図書に添付すること。</p> <p>⑤ 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」の交付・回収した各票を監督員に提示し確認を受け、<u>一票の写し</u>を竣工図書に添付すること。</p> <p>なお、回収したマニフェストについては廃棄物の処理及び清掃に関する法律を踏まえ適切に保存すること。</p> <p>●2 建設副産物の処理基準関係</p> <p>●土砂捨土処理について</p> <p>① 土砂処理条件(小割・仮置き等)</p> <p>イ) 捨土の種類 岩魂は、径30cm未満に破碎するものとする。最大寸法30cm未満の塊を含む土砂を処理することは可。</p> <p>ロ) 日曜・祭日・夜間の捨土は原則として不可。</p> <p>ハ) 夜間発生した土砂は、仮置きして運搬捨土するものとする。</p> <p>② 土砂処理場所</p> <p>○指定(A) 残土の処分場所は、_____とする。</p> <p>●指定(B) 残土の処分場所は、<u>8.0 km</u>の範囲内に処理すると想定するが、発注後、請負者の裁量により処分地を確保するものとし、運搬距離については別途協議する。</p> <p>○建設発生土処理先の見やすい場所に必ず標識を掲げること。</p> <p>○建設リサイクル法対象工事について</p> <p>1. 本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、建設リサイクル法に基づき、分別解体及び再資源化等の実施について適正に処理するものとする。</p> <p>① 分別解体の方法</p>																											
	<table border="1" data-bbox="319 1008 1543 1220"> <thead> <tr> <th data-bbox="319 1008 399 1220">工程及び解体方法</th> <th data-bbox="399 1008 718 1041">工程</th> <th data-bbox="718 1008 1037 1041">作業内容</th> <th data-bbox="1037 1008 1543 1041">分別解体の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="319 1041 399 1075">① 仮設</td> <td data-bbox="399 1041 718 1075"></td> <td data-bbox="718 1041 1037 1075">仮設工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1037 1041 1543 1075"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1075 399 1108">② 土工</td> <td data-bbox="399 1075 718 1108"></td> <td data-bbox="718 1075 1037 1108">土工 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1037 1075 1543 1108"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1108 399 1142">③ 基礎</td> <td data-bbox="399 1108 718 1142"></td> <td data-bbox="718 1108 1037 1142">基礎工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1037 1108 1543 1142"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1142 399 1176">④ 本体構造</td> <td data-bbox="399 1142 718 1176"></td> <td data-bbox="718 1142 1037 1176">本体構造の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1037 1142 1543 1176"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1176 399 1209">⑤ 本体付属品</td> <td data-bbox="399 1176 718 1209"></td> <td data-bbox="718 1176 1037 1209">本体付属品の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1037 1176 1543 1209"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1209 399 1220">⑥ その他(アスファルト取り壊し)</td> <td data-bbox="399 1209 718 1220"></td> <td data-bbox="718 1209 1037 1220">その他の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1037 1209 1543 1220"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 処理について</p> <p>本工事から発生するアスファスト廃材及びコンクリート廃材は、建設リサイクル法、栃木県土木工事必携建設副産物適正処理推進要綱により、適正に処理するものとする。</p> <p>③ 処理条件</p> <p>アスファルト塊、コンクリート塊の建設廃棄物は、径30cm未満に小割りし、下記再生資源化施設(破碎工場)に、持込み処分するものとする。</p> <p>再生資源化施設名(コンクリート塊) : _____</p> <p>再生資源化施設名(アスファルト・コンクリート塊) : _____</p> <p>再生資源化施設名(木材) : _____</p> <p>④ 請負者は分別解体等・再資源化が完了したときには、建設リサイクル法第18条に基づき、別途<u>様式1</u>により監督員に報告することとする。</p> <p>⑤ 本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」に基づき適正に処理しなければならない。また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は、設計変更の対象とする。</p> <p>積算上の処理施設 : _____</p> <p>⑤ 工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>⑥ その他 内容:</p> <p>○再生材の利用基準関係(再生クラッシャーラン、再生加熱アスファルト混合物)</p> <p>① 請負者は、再生材の使用にあたっては、「再生材の利用基準」(県土木部制定)に準拠することとし、監督員が別途提示する再生資源化施設に、<u>再生材の供給確認書(様式2)</u>で、供給の可否を確認し、監督員に提出すること。なお、再生材が供給不能な場合は、別途協議すること。</p> <p>また、現場搬入開始時に目視による品質確認状況を写真に記録するとともに、<u>再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書</u>を作成のうえ、速やかに監督員に提出すること。なお、報告書については、当該工事における再生クラッシャーランの搬入開始時に1枚作成し、その他供給元が変更する毎の初回搬入時に1枚作成する。</p> <p>② 請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)を使用する場合、3ヶ月以内の材料試験成績表を提出し承認を受けるものとする。なお、使用時期と承認時期がずれる場合は、使用3ヶ月以内の材料試験成績表を、再度提出し承認を受けること。</p> <p>③ 請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)が500m³以上又は監督員が指示する場合、請負者の責任において試料を採取し、公的試験機関(財)栃木県建設技術センター等)での材料試験成績を提出するものとする。</p> <p>○4 建設発生土の搬出先への情報提供要領関係</p> <p>本工事から発生する建設発生土を100m³以上、当該工事現場の市町村から他の市町村へ搬出する場合には、「建設発生土の搬出先への情報提供要領」に基づき、実施するものとする。</p>	工程及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法	① 仮設		仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	② 土工		土工 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	③ 基礎		基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	④ 本体構造		本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑤ 本体付属品		本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑥ その他(アスファルト取り壊し)		その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
工程及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法																									
① 仮設		仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
② 土工		土工 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
③ 基礎		基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
④ 本体構造		本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
⑤ 本体付属品		本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
⑥ その他(アスファルト取り壊し)		その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									

項目	事項
建設副産物関係	<p>○ 建設発生土情報交換システム関係 本工事については、建設発生土の工事間利用を促進するため JACIC 工事データとして登録してあります。設計図書(共通仕様書 1-1-3-2)、または設計図書の変更により、工事データに変更が生じる場合は、登録内容を変更するものとする。 (原則として、搬入(不足)土量 500m³以上、搬出(発生)土量 1,000m³以上の工事)</p> <p>○6 その他 内容:</p>
主任技術者	<p>●1 主任技術者の選定 栃木県建設工事請負契約約款第11条第1項に規定する主任技術者は、原則として下記の基準の者を定め、選任通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの(写しでも可)を添付すること。</p> <p>①請負対象額7,000万円以上の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という)のうち、検定項目を一級建設機械施工管理または一級土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ロ)技術士法(昭和32年法律第124号)による本試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門(選択科目を「農業土木」とするものに限る)または林業部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る)とするものに合格した者。</p> <p>②請負対象額3,000万円以上7,000万円未満の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)上記イに掲げる者または技術検定のうち、検定科目を二級建設機械施工管理または二級土木施工管理とするものに合格した者。 ロ)上記ロに掲げる者。</p>
工事カルテ	<p>● 工事カルテの作成、登録 請負者は、受注時又は変更時に工事請負額が500万円以上の工事について、工事情報実績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録期間に登録申請しなければならない。(ただし、工事請負額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。)なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。</p>
アルカリ骨材反応抑制対策	<p>●アルカリ骨材反応抑制対策について 土木構造物に使用されるコンクリートおよびコンクリート工場製品において適用する。ただし仮設構造物のように長期の耐久性を期待しなくてもよいものは除く。また特殊な材料を用いたコンクリートや特殊な配合のコンクリートについては別途検討を行うこと。</p> <p>1. 現場における対処の方法 請負者は、土木構造物に使用するコンクリートについて、アルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの場合による対処の方法を取らなければならない。</p> <p>a. 現場でコンクリートを製造して使用する場合…現地における骨材事情、セメントの選択の余地等を考慮し、2.1～2.3のうちどの対策を用いているか決めてからコンクリートを製造する。</p> <p>b. レディーミクストコンクリートを購入して使用する場合…レディーミクストコンクリート生産者と協議して2.1～2.3のうちどの対策によるものを納入するかを決めそれを指定する。なお、2.1、2.2を優先する。</p> <p>c. コンクリート工場製品を使用する場合…プレキャスト製品を使用する場合、製造業者に2.1～2.3のうちどの対策によっているものかを報告させ適しているものを使用する。</p> <p>2. 抑制対策の実施方法 2.1 コンクリート中のアルカリ総量の抑制 試験成績表に示されたセメントの全アルカリ量の最大値のうち直近6ヶ月の最大値(Na₂O換算値%) / 100 × 単位セメント量(配合表に示された値kg/m³) + 0.53 × (骨材中のNaCl%) / 100 × (当該単位骨材量kg/m³) + 混和剤中のアルカリ量kg/m³が3.0kg/m³以下であることを計算で確かめるものとする。防錆剤等使用量の多い混和剤を用いる場合には、上式を用いて計算すればよい。なお、AE剤、AE減水剤等のように、使用量の少ない混和剤を用いる場合には、簡易的にセメントのアルカリ量だけを考えて、セメントのアルカリ量 × 単位セメント量が2.5kg/m³以下であることを確かめればよいものとする。</p> <p>2.2 抑制効果のある混合セメントの使用 高炉セメントB種(スラグ混合比40%以上)またはC種、もしくはフライアッシュセメントB種(フライアッシュ混合比15%以上)またはC種であることを試験成績表で確認する。また、混和材をポルトランドセメントに混入して対策をする場合には、試験等によって抑制効果を確認する。</p> <p>2.3 安全と認められる骨材の使用 JIS A 1145骨材のアルカリ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」による骨材試験は、工事開始前、工事中1回/6ヶ月かつ産地がかかった場合に信頼できる試験期間^(注)で行い、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。また、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)または、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)」による骨材試験の結果を用いる場合には、試験成績表により確認するとともに、信頼できる試験期間^(注)においてJIS A 1804「コンクリート生産工程管理用試験方法—骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(迅速法)」で骨材が無害であることを確認するものとする。この場合、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。なお、2次製品で既に製造されたものについては、請負者が立ち会い、製品に使用された骨材を採取し、試験を行って確認するものとする。フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材等の人工骨材及び石灰石については、試験成績表による確認を行えばよい。 (注)公的機関またはこれに準じる機関(大学、都道府県の試験機関、公益法人である民間試験機関、その他信頼に値する民間試験機関、人工骨材については製造工場の試験成績表でよい)</p> <p>3. 外部からのアルカリの影響について 2.1および2.2の対策を用いる場合には、コンクリートのアルカリ量をそれ以上に増やさないことが望ましい。そこで、下記のすべてに該当する構造物に限定して、塩害防止も兼ねて塗装等の塩分浸透を防ぐための措置を行うことが望ましい。</p> <p>1) 既に塩害による被害を受けている地域で、アルカリ骨材反応を生じるおそれのある骨材を用いる場合 2) 2.1、2.2の対策を用いたとしても、外部からのアルカリの影響を受け、被害を生じると考えられる場合 3) 橋桁等、被害を受けると重大な影響をうける場合</p>

項 目	事 項
現場代理人の兼任について	<ul style="list-style-type: none"> ●1 現場代理人の専任を要する工事である。 ○2 現場代理人を兼任しても現場の運営、取締り等に支障がない工事である。(上三川町発注工事を1箇所まで) <ul style="list-style-type: none"> ○2.1 当初請負額3千万円未満の工事との兼任を認める ○2.2 当初請負額3千万円未満かつ工種が舗装である工事との兼任を認める ○2.3 当初請負額1千万円未満の工事との兼任を認める
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事現場発生品があるので、その取扱は次のとおり行うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 品 名 : 数 量 : 現場内使用の有無 : 搬 出 場 所 : ●2 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 電波法の遵守・不法無線局搭載車両の使用禁止とし、不法無線局を搭載、又は使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (2) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ●3 内容:その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 水道施設工事の施工に際し、原則として日本水道協会が発行した最新版の水道工事標準仕様書【土木工事編】及び水道工事標準仕様書【設備工事編】(以下、「仕様書」という。)に準拠することとする。 (2) 仕様書について疑義が生じた場合は、双方協議して定めるものとする。
暴力団員等による不当介入を受けた場合について	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 上三川町が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力をを行うこと。 ● 2 上記●1により警察に通報を行い、捜査上必要な協力をを行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。 ● 3 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

電子納品に関する特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
電子納品の対象書類	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事管理情報 (XML形式) ○2 発注図 (SFC形式) ○3 特記仕様書 (PDF形式) ○4 打合簿 (PDF形式) ○5 施工管理資料 (PDF形式) ○6 施工計画書 (PDF形式) ●7 完成図 (SFC形式) ●8 工事写真 (JPEG形式) ○9 その他 () (PDF形式) ●10 対象書類以外に電子納品を行う場合は、監督員との協議により実施すること。
電子納品に関し適用する要領・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ●1 上三川町建設工事電子納品実施要領(案)(平成21年4月) ●2 栃木県 CALS/EC 電子納品運用に関するガイドライン(案)第10版(平成26年4月) ●3 工事完成図書電子納品要領 (令和5年3月) 国土交通省 ●4 デジタル写真管理情報基準 (令和5年3月) 国土交通省 ●5 CAD 製図基準 (平成29年3月) 国土交通省
電子納品のフォルダ作成	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事写真のみを電子納品する場合は、フォルダの作成は必要としない。 ○2 工事写真以外の書類を電子納品する場合は、電子納品実施要領(案)に基づき全てのフォルダを作成すること。
事前協議	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事着手時には「電子納品事前協議チェックシート(土木工事)」(様式-1)により、電子納品対象書類、ファイル形式、作成ソフト等の協議を行うこと。
成果品の提出	<ul style="list-style-type: none"> ●1 成果品の提出に使用する電子媒体はCD-Rとする。 ●2 成果品は基本的には、1枚のCD-Rに格納する。 ●3 成果品は、正副各1枚ずつ計2枚を提出する。 (正副各1枚の場合のラベル表示は「正1/1」「副1/1」とする) ●4 CD-Rのラベル及びケースには、「電子納品実施要領(案)」に基づき、必要な情報を記載すること。 ●5 CD-Rのラベルは、CD-R表面へのプリンタ直接印字または油性マジック等での書込みとする。(ボールペン・鉛筆など硬質な筆記具の使用不可) ※ラベルシール等の貼付けはしないこと。(全面貼付けも不可)
インデックスプリント(簡易写真帳)の提出	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事写真の電子納品にあわせてインデックスプリントを作成し、検査時に提出する。インデックスプリントとはA4サイズの紙に代表写真のみを抜粋してカラー印刷したもので、縦5行・横3列の15枚ずつを原則とする。各写真の下に「工種」「写真タイトル」「撮影箇所」を3行で記入すること。(極力枚数を少なくし、簡易な製本とする。) ●2 代表写真は、工事全体の流れがわかる写真とし、「栃木県土木工事共通仕様書」の「栃木県土木工事写真管理基準(案)」における提出頻度程度(提出枚数は、電子納品した写真データの1割程度を目安)とする。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ●1 提出する CD-R 内には閲覧ソフト(ビューソフト)を入れないこと。 ●2 疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し指示を受けること。

令和 5 年 度

工事名 第 1 2 号水源さく井工事

工事場所 上三川町大字西蓼沼 6 9 0 番地 3

数 量 計 算 書

上 三 川 町 上 下 水 道 課

No	名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1	さく井工事		1	式			
2	揚水機工事		1	式			
3	導水管布設工事		1	式			
	直接工事費計						
4	共通仮設費		1	式			
	純工事費						
5	現場管理費		1	式			
	工事原価						
6	一般管理費		1	式			
	工事価格計						

さく井工事本工事							
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
さく井工事	直接工事費						
	掘削費	孔径φ500mmx55m	1	式			内訳書 井-1
	孔内検層費		1	式			内訳書 井-2
	ケーシング挿入費	SUS制ケーシング	1	式			内訳書 井-3
	珪砂充填・遮水費		1	式			内訳書 井-4
	仕上げ費		1	式			内訳書 井-5
	残泥土処理費		1	式			内訳書 井-6
	揚水試験費		1	式			内訳書 井-7
	報告書作成費		1	式			内訳書 井-8
	機械器具損料		1	式			内訳書 井-9
	仮設費		1	式			内訳書 井-10
	運搬費		1	式			内訳書 井-11
	計						

揚水機工事 本 工 事							
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
揚水機工事							
材料費	深井戸水中ポンプ	φ 80x7.5kw	1	基			
	井戸蓋・曲管・空気弁付属						
	ソールプレート 鋼板製	φ 500x20t	1	枚			
	連成計	φ 100x1.0Mpa	1	組			取付管・コック共
	揚水管 SUS304	φ 80x4.0m 2F	11	本			
	低水位ケーブル	50m	2	個			
	水位計用塩ビ管 ソケット共	VP40	11	本			
	逆止弁 ナイロコート	φ 80x10K	1	基			ハンマーソフトタイプ
	仕切弁 ナイロコート	φ 80x10K	1	基			
	仕切弁 ナイロコート	φ 65x10K	1	基			
	電磁流量計 TAV100V-30UE	φ 80	1	基			
	ディストリビューター・信号用避雷器付き						
	球型フレキシブル接手	φ 80x10K	1	個			
	吐出T字管 SUS304	φ 80x65 3F	1	個			
	吐出片落管 SUS304	φ 80x100 2F	1	個			
	吐出短管 SUS304	φ 100x400 2F	1	個			
	吐出短管 SUS304	φ 100x600 2F	1	本			

	吐出短管	SUS304	φ 65x1000 2F	1	本			
	吐出短管	SUS304	φ 65x800 2F	1	本			
	吐出曲管	SUS304	φ 65x90° 2F	2	個			
	消火栓弁		φ 65	1	個			
	パッキン・ボルト			1	式			
	鋼製架台	SUS304		1	式			
	消耗品雑材料費				%			
	ポンプピット			1	式			揚-1号内訳書
労務費	技師				人			試運転調整含む
	さく井主任				人			
	さく井工				人			
	さく井助手				人			
	配管工				人			
その他	クレーン車		77トン15t		日			
	治具工具損料			1	式			
小計								

導水管布設							本 工 事	
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考	
材料費	耐震型ロックバルブ	300x150	1	基				
	(配水用ポリエチレン管)							
	EF片受直管	150x5.0m	8	本				
	EF フランジ SUSGF型	100x10K	1	個				
	EF フランジ SUSGF型	150x10K	3	個				
	レギュレーター	150x100	1	個				
	EF 片受ベンド	150x90°	1	個				
	EF 両受ベンド	150x90°	1	個				
	EF ソケット	150	2	個				
	EF 組合せベンド	150x22.5°	1	組				
	制水弁	150	1	基				
	弁きょう		1	基				
	座台		1	個				
	埋設シート		42	m				
	パッキン・ボルト		1	式				
	小小計							

労務費							
管布設	配管工 0.25x40m			人			
	普通作業員 0.49x40m			人			
接手類	配管工 0.09x 8 個			人			
	普通作業員 0.09x8個			人			
制水弁	配管工 1基			人			
ロックバルブ設置	メーカー施工		1	式			
	小小計						
土工事	1) 導水管布設土工事		1	式			導-1号内訳書
	2) ロックバルブ設置土工事		1	式			導-2号内訳書
	小小計						
	小計						

掘削費							内訳書 井-1
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
地層分類による掘削日数(国交省積算参照)							
粘性土 14.0m m 礫質土 41.0m にて15.5日							
労務費	技師 (地質調査技師単価)			人			掘削日数x1/3
	さく井主任(主任地質調査員単価)			人			
	さく井工 (特殊作業員単価)			人			
	さく井助手(普通作業員単価)			人			
消耗資材費	掘削用粘土	0.97x15.5	15	m3			
	普通溶接棒		4.96	kg			
	特殊溶接棒		4.34	kg			
	酸素		2.8	本			
	アセチレン		12.3	kg			
	ワイヤーロープ損量	φ22	105	m			3回使用として計上
	(掘削深度+50m)	φ12	105	m			5回使用として計上
	掘削用軽油			L			
小計							

孔内検層費							内訳書 井-2
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
材料費				%			
小計							

ケーシング挿入費							内訳書 井-3
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
	普通作業員			人			
	溶接工			人			
材料費	ケーシングパイプ SUS304	φ 350x6.0m	5	本			Sh20 継ぎ材を含む
	ケーシングパイプ SUS304	φ 350x4.0m	1	本			
	巻線型スクリーン SUS304	φ 350x5.5m	4	本			
	ウエルスクリーン	有孔L=5.0m					
	井戸底蓋 (ボトム)	φ 350 SUS	1	個			
	溶接棒	SUS用	10.45	kg			
動力・燃料費	軽油			L			
小計							

硅砂充填・遮水費							内訳書 井-4
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
材料費	硅砂 2号	φ2~4mm	4.4	m3			
	充填粘土		1.02	m3			
	セメント		40	袋			
動力・燃料費	軽油			L			
小計							

仕上げ費							内訳書 井-5
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
材料費				%			
動力・燃料費			139	L			
作業	井内泥土くみ出し1日						
	スワーピング作業2日						
小計							

残土処分費							内訳書 井-7
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	掘削は粘土のみにて鋤物及び薬剤は使用しないため産廃でなく建設残土として処分						
処分量 $(0.25 \times 0.25 \times \pi) \times 55 \times 3.0 = 32.3\text{m}^3$							
処分費			32.3	m3			
運搬車損量	4t車2.5m ³		13	台			
小計							

揚水試験 費							内訳書 井-7
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
(準備及び撤去)							
労務費	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
(試験)							
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
動力・燃料費	軽油			L			
その他	水質試験費	水道法全51項目	1	式			
作業	準備1日・予備試験1日・段階試験1日・連続試験24H・回復試験12H・撤去1日						
小計							

報告書作成費							内訳書 A-8
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	一般事務職員			人			
その他	写真費		1	式			
	印刷製本費		3	部			
	地質標本箱		1	箱			
小計							

機械器具損料 費							内訳書 A-9
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
損料	さく井機械(パ-カッション)	大型		日			原動機共
	掘削用ビット	φ500		日			
	粘土攪拌機			日			
	電気溶接機			日			
	工事用サンドポンプ			日			
	試験用水中ポンプ	φ100x22kw		日			
	発電機	60KVA		日			
	泥水タンク			日			
	ケーシング器具			日			
	測定堰・送水管類		1	式			
	電気検層装置			日			
	ユニットハウス	トイレ共		日			
	その他器具工具類			%			
小計							

仮設費							内訳書 A-10
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
準備工							
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
仮設工	機械組立解体工						
労務費	技師			人			
	さく井主任			人			
	さく井工			人			
	さく井助手			人			
	とび工			人			
材料費	消耗品			%			
損料等	機械組立・解体用クレーン車	ラフレーン15t		日			
	バックホウ 0.2m ³	回送費含む		日			
敷鉄板	設置及び撤去工		72	m ²			
	損料 22x1624x6096	60日	8	枚			
小計							

運搬費							内訳書 A-11
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	運搬距離20km						
	トラック 10t			日			
	トラック 10t	3tクレーン付き		日			
	トラック 4t			日			
	トラック 4t	2.9tクレーン付き		日			
	仮設材運搬	敷鉄板 往復	1	式			
小計							

ポンプピット							内訳書 揚-1
工種	名称	形状寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1) ポンプピット							
	掘削		24.5	m3			
	基面整生		14	m ²			
	砕石基礎	RC40	14	m ²			
	鉄筋加工組立	D13 @150シングル	341	kg			小型構造物
	型枠加工組立		26.2	m ²			小型構造物
	コンクリート打設		2.5	m3			小型構造物
	埋戻し	埋戻し幅1m未満	17	m3			
	土砂運搬		24.5	m3			
	残土処分		24.5	m3			
	通気金物 アルミ合金鋳物製	VC-B2-100	1	個			取付共
	ピット蓋 SUS鋼板制	鍵2個	1	式			取付共
2) ケーシング基礎	鉄筋加工組立	D13 @150シングル	30	kg			小型構造物
	型枠加工組立		1.3	m ²			小型構造物
	コンクリート打設		0.2	m3			小型構造物
小計							